

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

会社名： BASF ジャパン株式会社  
住所： 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー21階  
担当部門： 農薬事業部 開発登録部  
FAX番号： 03-3796-9417  
緊急連絡先： 0120-014660(フリーダイヤル) 案内に従って選択  
(財)日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)  
中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499 (情報料無料)  
365日 24時間対応  
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料)  
365日 9~21時対応  
医療機関専用電話 (大阪) 072-726-9923 (1件2000円)  
365日 24時間対応  
(つくば) 029-851-9999 (1件2000円)  
365日 9~21時対応  
医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報提供料1件につき  
2000円を徴収します。

整理番号： 30141901/SDS\_CPA\_EU/EN\_JP

作成日： 1998年12月02日

改訂日： 2011年01月20日 ver 7.2

製品名(化学名、商品名)： オサダン水和剤 25

## 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

化学物質名	含有率 (%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号 化審法/安衛法	CAS No.
酸化フェンブタズ; ビス〔トリ(2-メチル-2-フェニルプロピル)メチル〕又は ヘキサ(β,β-ジメチルフェニル)シスタンメチル その他、鉱物質、補助成分等	25.0 75.0	$C_{60}H_{78}OSn_2$	-	13356-08-6

酸化フェンブタズ： PRTR1種 387号、労安衛法名称を通知すべき化合物

### 3. 危険有害性の要約

[GHS 分類]

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入、粉塵)	区分2
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼への重篤な損傷・刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分外
環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分外
	水生環境有害性 (急性)	区分1
	水生環境有害性 (慢性)	区分1

[GHS ラベル要素]

シンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	吸入すると極めて有毒 眼に重度の損傷を及ぼす危険性 皮膚に対する刺激性 発がんのおそれ 水生生物に対して強い毒性

(予防対策)

使用前に取扱い説明書を入手すること。粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。環境への放出を避けること。この製品を使用する時に飲食、または喫煙しないこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。必要な個人用保護具を使用すること。取扱い後は多量の水と石鹸でよく洗うこと。

(緊急対応)

気分が悪い時は医師に連絡すること。流出物を回収すること。暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けること。吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。飲み込んだ場合は、口を漱ぐこと。

(保管)

施錠して保管すること。

(廃棄)

適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

#### 4. 応急処置

一般的注意事項：

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。汚れた衣服は取り替える。

気分が悪い場合：医師の診断を受けること。医師に容器、ラベル、安全データシートなどを見せること。

吸入した場合：

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：

直ちに水と石鹸で十分に洗い流す。刺激が続くようであれば医師の診察を受けること。

眼に入った場合：

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

直ちに口をすすぎ多量の水を飲ませた後、医師の手当てを受ける。無理に吐かせたりしない。

医師への注意：

症状に応じて処置（薬物除去、機能回復）を講じる。特定の解毒剤はない。

#### 5. 火災時の措置

消火剤：

散水、噴霧水、二酸化炭素、消火泡、粉末消火剤など

防護服等：

自給式呼吸器及び耐薬品/防火防護服を着用する。

その他：

火災ないしは爆発による噴煙を吸わない。周辺火災では、散水により容器を冷却する。火災現場より流出した水を集め、排水経路に流れ込まないようにする。暴露した物及び本物質が混ざった水は回収し、地域の法令に従って処分する。周辺火災では、散水により容器を冷却する。火災時に一酸化炭素、窒素酸化物が発生する恐れがある

## 6. 漏出時の措置

人的注意：

暴露防止措置に記載された保護具を着用して取扱うこと。眼、皮膚及び衣服への付着を避けること。付着した衣服、下着及び靴は直ちに替える。粉塵を発生させない。

環境への注意：

土壌中などに流さない。排水溝、地表水及び地下水への排水を防止する。

地域の法令に従い、環境中へ漏出した数量等について関係所轄へ連絡する。

除去法：

かき集めるまたはすくい取る。

清掃作業は、呼吸保護具を着用して行なう。法令に従って吸着剤を廃棄する。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付及び密閉が可能な容器とする。水及び洗剤を用いて、汚染された床及び物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

指示通りの通常の手扱いは特別な処置は必要ない。作業場の換気を十分に行う。

火災及び爆発からの保護：

粉塵は空気と混合して爆発性物質を形成する可能性がある。粉塵を発生させない。静電気防止対策をとる。発火源に近づけない。消火器常備のこと。

保管：

食料品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加事項：湿気を避ける。熱源から離して保管する。直射日光を避ける。

保存安定性：

保管期間：48ヶ月間安定

原則として40℃以上で保管しない。物質/製品を上記指示以上に長期間保管すると製品特性が変質する恐れがある。

## 8. 暴露防止及び保護措置

一般的な安全及び衛生対策：最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う場合には、使用説明書（ラベル）の保護具に関する記述に従うこと。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。衣服に付着した場合には直ちに替える。作業着は他の衣服と分けて保管する。食品、飲料、動物用飼料から隔離する。作業所での飲食、喫煙をしない。取扱い後は石鹼で十分に洗浄する。

また、研究所従事者は研究所の規則に従い、工場従事者は以下の保護具を着用する。

呼吸保護具：

エアゾール／粉塵が発生する場合または換気の悪い場合には、呼吸保護具を着用する。固体及び液体粒子に対して高効率の微粒子フィルタ付き防塵マスク（例：EN 143 もしくは 149P3 型もしくは FFPE）。

手の保護：

長期間直接付着を可能にする耐薬品性保護手袋（EN 374）（推奨：EN 374 に従った 480 時間以上浸透を防ぐ Protective Index 6：例 ニトリルゴム製（0.4 mm）、クロロピレンゴム製（0.5 mm）、ブチルゴム製（0.7 mm）など）

眼の保護：

密着性の高いサイドシールド付きの保護眼鏡（例：EN 166）

身体の保護：

作業内容及び暴露程度によって選択する、例 エプロン、保護長靴、耐薬品性保護衣（例：DIN-EN 465）

## 9. 物理的及び化学的性質

性状：粉末

色：類白色

pH：4.5～6.5

引火点：不燃性

比重：0.15～0.35

## 10. 安定性及び反応性

熱分解性：指示された保管取扱いでは分解しない。

避けるべき材料：酸化剤

反応性：指示された保管取扱いにおいて有害物質が発生するような反応性はない。

危険有害な分解生成物：指示された保管取扱いにおいて有害物質は発生しない。

## 11. 有害性情報

急性毒性：

LD<sub>50</sub>(ラット、雌雄、経口)：5,000 mg/kg 以上

LD<sub>50</sub>(マウス、雄雌、経口)：5,000 mg/kg 以上

LD<sub>50</sub>(ラット、雌雄、経皮)：2,000 mg/kg 以上

LC<sub>50</sub>(ラット、雌雄、吸入)：0.22 mg/L

刺激性：

皮膚刺激(ウサギ)：刺激性あり。

眼粘膜刺激(ウサギ)：強い刺激性あり。

感作性(モルモット)：感作性なし（日本の評価基準では感作性あり）

発がん性：本製品に含まれる鉱物質微粉は天然鉱産物であり、天然由来の石英(シリカ)を含む。区分 1A に分類される石英(シリカ)をカットオフ値の 0.1%以上含有していると考えられるので区分 1A とした。

その他毒性情報：誤用により健康を損なう恐れがある。

## 12. 環境影響情報

急性毒性：

LC<sub>50</sub>（コイ）：0.11 mg/L（96 時間）

EC<sub>50</sub>（ミジンコ）：18 mg/L（48 時間）

EbC<sub>50</sub>（藻類）：19 mg/L（0-72 時間）

残留性及び分解性：酸化フェンブタスズは容易に生分解されない

その他：環境中への排出については、環境法令や規制・基準に従って適切に処理する。

## 13. 廃棄上の注意

廃掃法に従って処分する。廃棄を避ける為に、本製品は登録の使用方法に従い、完全に使いきるようにする。

## 14. 輸送上の注意

運搬に際し、容器から漏れのない事を確認し、落下、転倒、衝突を避ける。

取扱い及び保管上の注意の項に留意すること。法令に定められている運送法に従う。

## 15. 適用法令

農薬取締法 登録番号 第 14361 号

PRTR 法：1 種 387 号

労働安全衛生法：シリカ（通知対象物質、政令番号 312）、含有量 26.5%

消防法：非危険物

## ラベル表示

- (1) 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意すること。  
眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 粉末は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意すること。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 散布の際はマスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないように注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (6) 本剤は水産動物に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散・流入する恐れのある場所では使用しないこと。
- (7) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理すること。

参考情報（欧州の規制）

危険有害性シンボル：T+, N

R-phrase: R26、R38、R41、R50 / 53

S-phrase: S1、S13、S20 / 21、S26、S28、S35、S36 / 37 / 39、S45、S57

表示すべき危険有害性物質：酸化フェンブタスズ

## 16. その他の情報

引用文献：BASF 製品安全データシート（30141901/SDS\_CPA\_EU/EN Version 3.0）

本安全性データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の利用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規制を遵守してください。

## 17. 改訂履歴

作成日：1998年12月02日 Version 1

第1回改訂日：2000年12月21日 Version 1-1

第2回改訂日：2006年09月09日 Version 2

製品名 (化学名、商品名) : オサダン水和剤 25

---

第3回改訂日 : 2007年11月30日 Version 3  
第4回改訂日 : 2007年12月12日 Version 3-1  
第5回改訂日 : 2008年02月13日 Version 4  
第6回改訂日 : 2008年11月14日 Version 5  
第7回改訂日 : 2009年07月10日 Version 6  
第8回改訂日 : 2009年10月01日 Version 7  
第9回改訂日 : 2010年01月15日 Version 7.1  
第10回改訂日 : 2011年01月20日 Version 7.2